

農作業コツのコツ

【第7号】

令和3年6月5日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生

中干しを行っていない場合は早急に実施しましょう。

中生・晩生

浅水管理や軽い田干しで稲体を健全化し、溝切りを行いましょ。

【水稻の生育状況】

水稻の生育は、田植え直後の天候不順で全般的に分げつの発生が弱く、軟弱な稲体で生育しています。

- ・とみちから 生育は平年より1日程度遅く、茎数は平年並で分げつの発生は概ね順調です。
- ・五百万石 生育は平年より3日程度遅く、茎数は平年より少なくなっています。
- ・コシヒカリ 生育は平年より3日程度遅く、茎数は平年より少なく、軟弱徒長気味となっています。
- ・てんこもり 生育は平年より4日程度遅く、平年より草丈は長く、茎数は少なく、分げつの発生が遅れています。

今後は、梅雨入り前に適切な水管理（**浅水**、**中干し**）で稲体の健全化を図りましょう。

水稻・移植

生育状況

(6月1日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色		
	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	
とみちから	5/3	5/3	29.9	30.8	12.8	11.7	6.9	7.2	4.5	4.3	
五百万石	5/2	5/3	23.6	25.6	7.0	10.1	7.0	7.7	4.4	4.5	
コシヒカリ	5/14	5/13	27.1	26.8	4.8	7.0	5.2	5.7	4.1	4.1	
てんこもり	5/7	5/8	26.0	23.8	3.7	9.8	5.5	6.6	4.2	4.3	
密苗	コシヒカリ	5/14	5/15	24.4	22.4	4.9	7.1	4.7	5.6	4.0	4.2
	てんこもり	5/8	5/10	22.3	20.9	7.7	9.7	5.4	5.7	4.4	4.3

(調査筆数：とみちから2筆 五百万石2筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシ3筆 密苗てんこ1筆)

1 とみちから、五百万石

①茎数が少ない等でまだ**中干し**を始めていない場合は、早急に行いましょう。

中干しが遅れると・・・

- ・根の活力が低下し、うわ根が発達せず、登熟不良に ⇒ 収量・品質の低下
- ・中干し程度が弱くなり、地耐力が確保できない ⇒ 刈取作業に支障

中干しの徹底で倒伏を防ぎましょう。

②中干しは、短期間に強く干しすぎると稲の生育に影響します。数回に分けて徐々に干しあげていきましょう。

③中干し後は**間断かん水**を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程度となるように田面を硬めましょう。

④**溝の手直し**を行い、成熟期まで入水・排水が円滑に行えるようにしましょう。



中干し終了時の目安
ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度
(足跡の深さ 10cm 程度)

2 コシヒカリ、てんこもり

①中干し開始まで、**浅水管理**で分げつの発生を促しましょう。

②藻やワキの発生が見られたら、**田干し**や**水の入れ替え**を行い、稲体の健全化を図りましょう。

③中干しの効果を高め、入水・落水を速やかにするため、必ず**溝切り**をしましょう。

④生育に応じて適期に**中干し**を開始しましょう。(表参照)

【中干し開始の目安】

表1

品種	開始時期
コシヒカリ	5/15 田植 6月14日頃
てんこもり	5/11 田植 6月13日頃

水稻・直播

生育状況

(5月28日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名		播種日		草丈 (cm)		m当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色	
		R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年
カルパー	コシヒカリ	5/1	4/30	17.8	20.8	28.0	44.3	2.9	4.3	4.1	4.1
鉄コ	コシヒカリ	5/3	4/29	10.8	14.9	17.3	25.4	2.6	3.9	4.0	4.2
	てんこもり	4/30	5/1	9.0	14.1	19.3	26.5	3.0	4.6	4.1	4.2

(調査筆数：カルパー コシヒカリ2筆、鉄コ コシヒカリ2筆 てんこもり2筆)

・播種後の低温で出芽が遅れ、茎数が平年より少なくなっています。1m間の茎数が100本になったら速やかに中干しを開始しましょう。

・中干し開始前に必ず溝切りしましょう。

・いもち病や紋枯病防除として、6月20日までにオリブライトを必ず散布しましょう。

【中干し開始の目安】(5月1日播種)

播種様式	開始時期
カルパー コシヒカリ	6月9日頃
鉄コ コシヒカリ	6月13日頃

雑草防除（移植・直播共通）

・雑草が残っている場合、雑草の種類や大きさを確認し、遅れずに除草剤を散布しましょう。

※「営農とくらし」P42～49参照

・除草剤の選定にあたっては、中干しや葉いもち防除と重なることから、水管理（湛水または落水）を考慮し、使用する除草剤を選定しましょう。

大豆

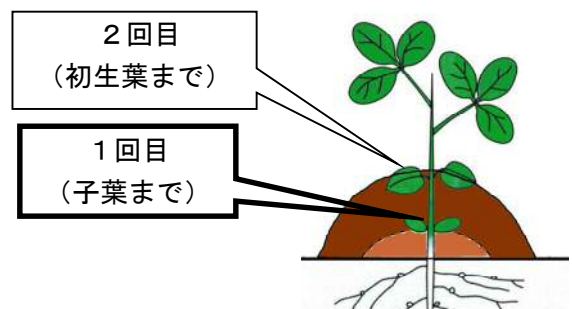
1 播種 ～晴れ間を逃さず、播種作業を進めましょう～

- ・ほ場の排水を良くするため、排水口は深く掘り下げ、排水溝は確実に連結しましょう。
- ・適正な播種量となるよう播種開始時に必ず種子の落下状況、播種深度（3cm程度）を確認しましょう。

2 培土

培土は必ず2回行いましょう。土は株元までしっかりと寄せましょう。

	時期	高さ
1回目	本葉2～3葉期 (播種後20～25日頃)	子葉が 隠れるまで
2回目	本葉4～5葉期 (播種後30～35日頃)	初生葉が 隠れるまで



3 溝の手直し

培土後は、培土で出来た溝と額縁排水溝を連結させ、ほ場外へ速やかに排水させましょう。

4 雑草対策

難防除雑草「マルバルコウ（帰化アサガオ類）」をほ場周辺で見つけたら、直ぐに抜き取るか除草剤（大豆バサグラン液剤）を散布してください。

播種後日数（本葉数）が進むと、大豆の株元にある雑草に薬剤が届かなくなるため、早めに散布しましょう（大豆2葉期以降）。

